

授業科目 動作分析学

【担当教員名】 江原義弘		対象学年	1 ② 3 4	対象学科	理学・作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 身体運動を力学的にとらえる方法を学ぶ。 動作の分析方法を学ぶ。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 力学の基礎事項（重心・床反力・床反力作用点・作用反作用）が説明できる 2. 動作を分析して、分析結果を他の人にわかりやすく説明できる 3. 卒業研究で動作の分析をテーマとする場合に、自由自在に機器を操作できる					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	力学の復習、人体のモデル化			1, 2	講義
2	スクワット動作の分析			1, 2	講義、実習
3	椅子からの立ち上がりの分析			1, 2	講義、実習
4	ジャンプの分析			1, 2	講義、実習
5	歩き出しの分析			1, 2	講義、実習
6	歩行の分析			1, 2	講義、実習
7	歩行の分析			1, 2	講義、実習
【使用図書】					
教科書 (必ず購入する書籍)		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
参考書		ボディダイナミクス入門1 医歯薬出版 ボディダイナミクス入門2 医歯薬出版			
その他の資料					
【評価方法】 レポート		【履修上の留意点】 人に見せたときに、見ただけでわかるようなノートをきちんとまとめる。 同級生に教えたり教えられたり協力し合って学習する。			